



お問い合わせ

インフォコム株式会社 広報・IR室
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL: 03-6866-3500 FAX: 03-6866-3900 E-mail: pr@infocom.co.jp

※当資料に記載された予想に関する情報は、2009年5月11日発表の中期経営計画、
2009年5月12日発表の決算説明会資料及び2009年10月29日発表の平成22年3月期 第2四半期決算短信に
基づくものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
※当資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標又は出願中の商標です。
※当資料に掲載される情報、記事、写真等の無断複写、転載を禁止します。



この報告書は「適切な管理が行われている森林」から採出された木材を原料とする用紙を使用しています。また、環境にやさしい印刷方式で印刷しています。

United Innovation
infocomgroup

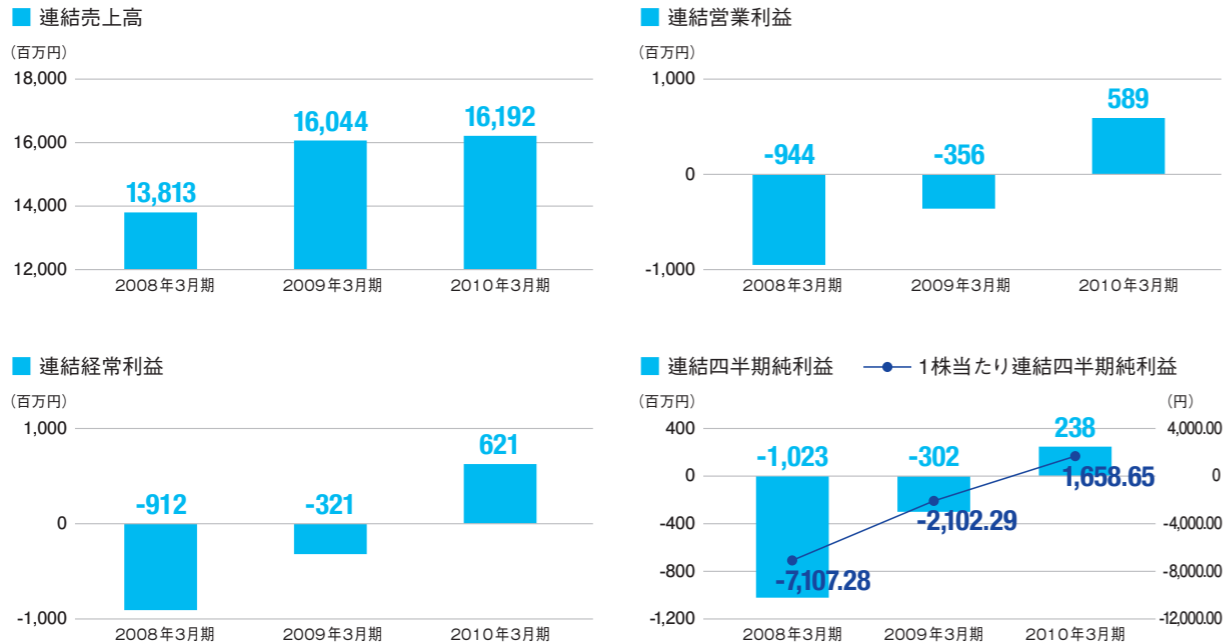
インフォコムグループ Business Report 2010年3月期 第2四半期 (2009年4月~2009年9月)

INDEX

- 01 2010年3月期 第2四半期 連結業績ハイライト
- 02 2010年3月期 第2四半期 連結業績(セグメント別)
- 03 2010年3月期 通期連結業績予想
- 04 2010年3月期 通期連結業績予想(セグメント別)
- 05 株主の皆様へ
- 06 新中期経営計画:基本方針、計数計画
- 07 新中期経営計画:事業領域、重点分野
- 08 新中期経営計画推進状況:2010年3月期第2四半期までの主要施策
- 09 新中期経営計画推進状況:成長戦略 2010年3月期上半期 ビジネスハイライト
- 10 新中期経営計画推進状況:成長戦略 トピックス紹介
- 12 財務データ
- 13 会社情報、株式情報/株主メモ
- 14 インフォコムホームページのご案内

●●● 2010年3月期 第2四半期 連結業績ハイライト

●●● 前期対比 増収・増益



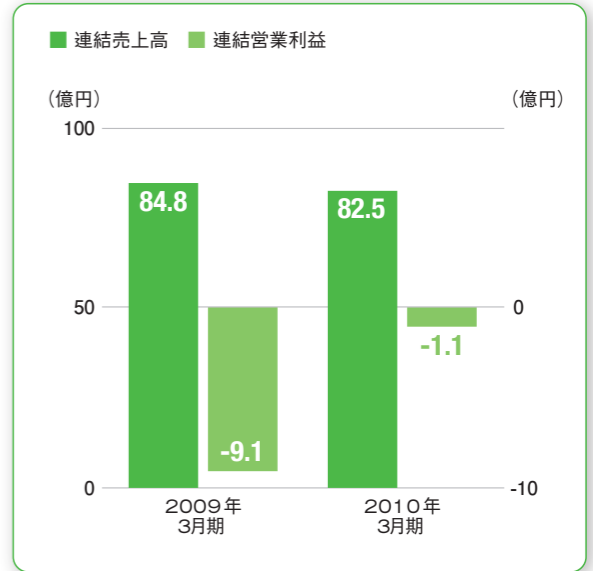
●●● 2010年3月期 第2四半期 連結業績(セグメント別)

当社グループは、ソリューション・セグメント、サービス・セグメントの2つのセグメントで事業を構成しています。

ソリューション・セグメント

当セグメントは、大規模顧客のIT機能の一翼を担うとともに、医薬医療機関や文教、知的財産等の分野に特化した自社開発パッケージ製品を提供しています。
また、様々な法人に適合する完全Web-ERP「GRANDIT®」、情報資産の高度活用に対応するデジタルコンテンツ管理ソリューション等も提供しています。

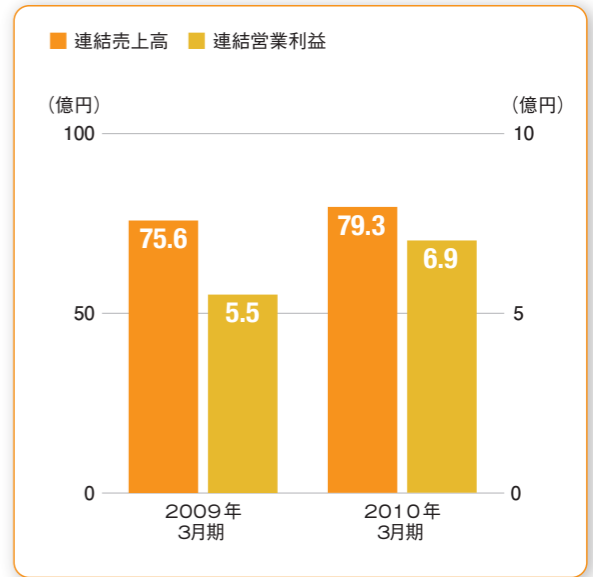
連結売上高8,258百万円(前期連結売上高8,484百万円)、連結営業損失116百万円(前期連結営業損失915百万円)となりました。
当セグメントは、企業のIT投資抑制等の厳しい経済環境の影響を受けていますが、8頁の「第2四半期までの主要施策」に記載した【一般の経済環境を踏まえた収益力の向上】や【事業基盤の継続的強化】等により、連結営業損失が大幅に改善しました。



サービス・セグメント

当セグメントでは、ディザスター・リカバリー機能の充実化を支援する、新横浜データセンターを核とした高品質かつ高信頼性を誇るデータセンター・サービス「エクステーション®」の提供のほか、携帯電話やPC利用者向けには、着信メロディや着うたフル®、電子書籍、健康情報、パズルゲームやメール装飾素材等のコンテンツ配信、CD/DVDやアパレル等を販売するeコマースサイトを展開しています。

連結売上高7,934百万円(前期連結売上高7,560百万円)、連結営業利益696百万円(前期連結営業利益559百万円)となりました。
8頁の「第2四半期までの主要施策」の【業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト】に記載したネットビジネス事業における携帯電話向けコンテンツ配信サービスが堅調に推移する等により、前期と対比し増収増益となりました。

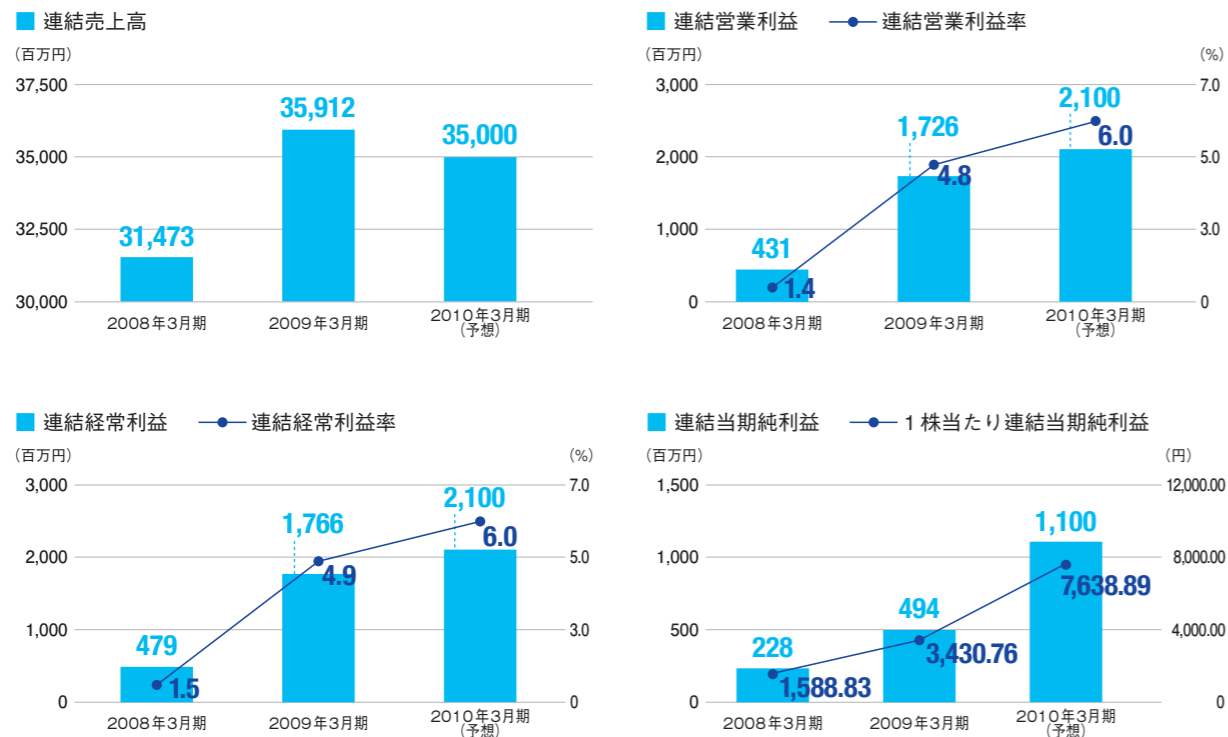


●●● 2010年3月期 通期連結業績予想

不況の影響による厳しい事業環境が続いていますが、2009年3月期 決算説明会(2009年5月12日開催)で公表した「新中期経営計画の着実な推進」と「景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策」に注力し、着実に存在感のある企業グループへの成長を図ってまいります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
通期連結業績予想	35,000	2,100	2,100	1,100	7,638.89

2010年3月期 通期連結業績予想は、期初予想に対する修正を2009年10月22日に公表し、上記の通りとなっております。



●●● 2010年3月期 通期連結業績予想(セグメント別)

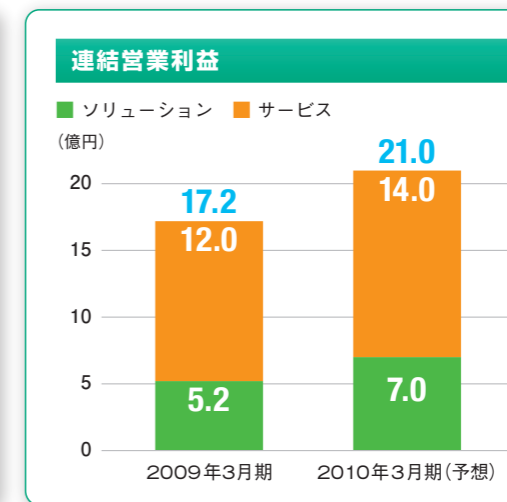
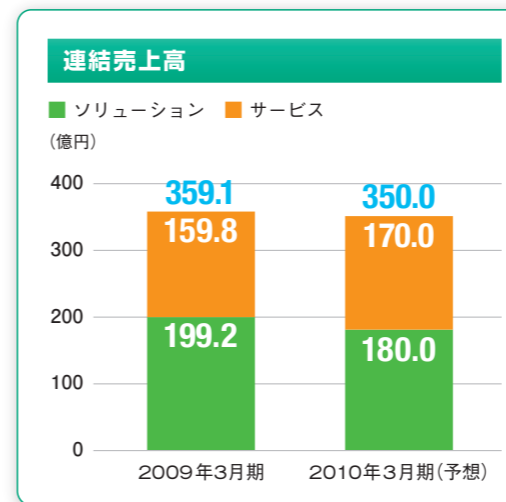
2010年3月期の短期計画方針を着実に遂行してまいります。

【第2四半期まで】

- **業績は堅調に推移：**
プロジェクト管理強化による改善効果の発現
下期予定一部案件の前倒し検収の進展等
電子書籍配信サービスの堅調な推移

【下期】

- **景気の先行きは未だ不透明：**
顧客企業のIT投資抑制等、厳しい事業環境は今後も継続
- **2010年3月期の短期計画方針を着実に遂行：**
 - **新中期経営計画の着実な推進**
今般の経済環境を踏まえた収益力の向上
業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト
事業基盤の継続的強化
 - **景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策**



●●● 株主の皆様へ

2009年3月期に顕在化した、米国サブプライムローン問題に端を発した国際金融市場の混乱と、引き続き世界的規模での実体経済の悪化により、わが国の企業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いており、インフォコムグループが属するITサービス業界でも、企業のIT投資抑制等厳しい事業環境が続いています。

このような状況の中、当社グループは、「1. 一般の経済環境を踏まえた収益力の向上」、「2. 業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト」、「3. 事業基盤の継続的強化」を基本方針に、より存在感のある企業グループへの成長を目指すとした新中期経営計画(2010年3月期から2012年3月期)を積極的に進めています。(2009年5月11日公表)

初年度となる2010年3月期には、新中期経営計画基本方針の着実な推進に加え、「景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策」の推進にも注力する事で、2010年3月期 第2四半期の業績は連結・単体ともに前年同期比増収増益を達成する事ができました。(2009年10月29日公表)

景気の先行きは尚も不透明な状況にあり、厳しい事業環境は今後も続く事を想定していますが、引き続き新中期経営計画、及び、2010年3月期短期計画の着実な遂行により、景気低迷の影響を最小限に留め、インフォコムグループの利益ある成長を図ってまいります。

今後とも尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 CEO
原 隆 吉

利益分配に関する方針

当社グループは、株主価値の極大化の一環として、安定的な利益還元を重要な経営課題と考えており、資金需要のバランスを考慮の上、財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図るとともに、利益の成長に応じた安定的な配当を行う事を、利益分配に関する基本方針としています。

2010年3月期の通期業績は、前述の通り堅調な推移を予想している事から、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、1株当たり年間配当金につきまして、前期までの1,600円から400円増配し2,000円とする事を、2010年6月下旬に予定しております第28回定時株主総会にご提案申し上げる予定でございます。

	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期(予想)
1株あたり年間配当金	1,600円	1,600円	1,600円	2,000円
連結配当性向	14.4%	100.7%	46.6%	26.2%
1株あたり連結当期純利益	11,084円53銭	1,588円83銭	3,430円76銭	7,638円89銭

●●● 新中期経営計画：基本方針、計数計画

●●● インフォコムグループ 新中期経営計画について ～より存在感のある企業グループへの成長に向けて～

【平成21年3月期 決算短信(2009年4月28日付)】で公表の通り、サブプライムローン問題を契機とした国際金融市場の混乱、米国企業の破綻、為替の変動等により、国内外の需要が急激に縮小する等、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。また当社グループが属するITサービス業界でも、企業のIT投資抑制等による厳しい事業環境が続いています。世界的不況からの立ち直りには暫く時間がかかる事が想定される事から、企業のIT投資抑制等が広がり、当社グループが展開する企業向け事業に影響を受ける事を予想していますが、当社グループの事業領域では「ヘルスケア分野における健康管理志向の広がり、医療費削減による病院経営効率化志向の浸透によるビジネス機会の増加」、「ネットビジネス事業とソリューション事業を併せ持つ当社グループの強みを活用した新規サービスの創出」、また、「中堅企業を中心にIT機能の「保有」から「利用」へと進展する事によるSaaS型事業の成長機会が見込まれる」等の市場成長が期待される領域がある事から、これらの領域に重点を置いた施策を中心に【「利益ある成長」の再スタート】を目指したインフォコムグループ 新中期経営計画(2010年3月期～2012年3月期)を策定しました。

●●● 基本方針、計数計画

新中期経営計画 基本方針を定めるとともに、新中期経営計画最終年度となる2012年3月期の計数計画目標値を以下の通りとし、より存在感のある企業グループへの成長を目指します。尚、一層の事業基盤強化や成長の実現のためのM&A等は、積極的な検討を継続しますが、計数計画には織り込んでおりません。

新中期経営計画 基本方針

- 1 一般の経済環境を踏まえた収益力の向上
 - ▶ コスト抑制の徹底
 - ▶ 利益率の一層の向上に向けた構造改革施策の着実な実行
 - ▶ 設備・研究開発投資の重点化等、キャッシュフロー重視経営の推進
- 2 業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト
 - ▶ ネットビジネス領域、ヘルスケア領域での新事業を含めた成長加速
 - ▶ GRANDIT事業の推進
 - ▶ SaaS型事業の展開加速
- 3 事業基盤の継続的強化
 - ▶ グループ人材の流動化と育成強化
 - ▶ 継続的品質向上に向けた管理体制強化及び管理技術の展開推進
 - ▶ グループ全体の潜在リスク極小化

(単位:億円)	2009年3月期	2012年3月期 (目標値)
連結売上高	359.1	400.0
連結営業利益	17.2	28.0
連結売上高営業利益率	4.8%	7.0%
連結自己資本当期純利益率	4.0%	10.0%

●●● 新中期経営計画：事業領域、重点分野

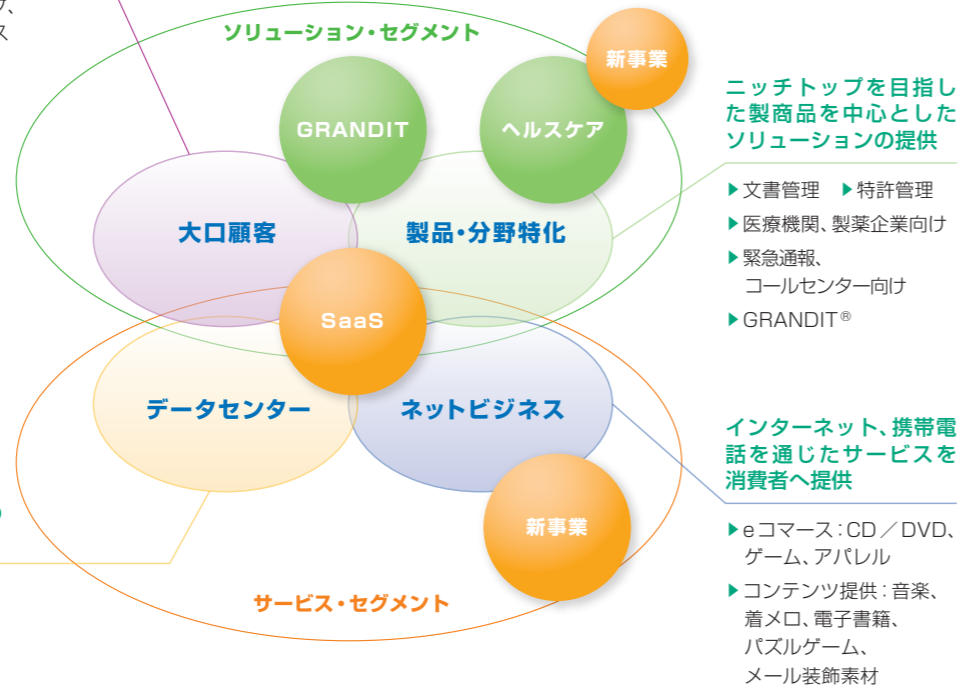
●●● インフォコムグループの事業領域

大規模顧客のシステム構築運用を受託

- ▶ 帝国グループ、双日グループ、メディカルホールディングス
- ▶ 携帯電話事業者

ネットワークの構築・運用、及び、新横浜センターでのサーバー運用

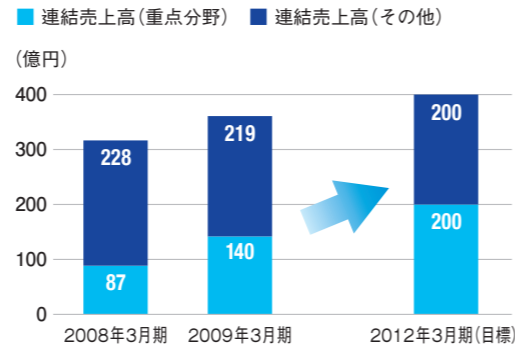
- ▶ 大口顧客
- ▶ パートナー企業



●●● 重点分野に経営資源をシフト

成長加速	ネットビジネス	コンテンツ、eコマースの成長加速と新事業の立ち上げ
	ヘルスケア	病院経営支援、診断支援等、新分野への積極展開
基盤強化	GRANDIT	継続的な製品強化により、品質向上と競争力強化を推進
新ビジネスモデル	データセンター	SaaS型事業立ち上げ

●●● 重点分野を連結売上高の50%に



●●● 新中期経営計画推進状況：2010年3月期第2四半期までの主要施策

2009年3月期に顕在化した経済環境悪化の影響を受け、企業のIT投資抑制等の厳しい事業環境が続く中、インフォコムグループは、新中期経営計画(2009年5月11日公表)の初年度となる2010年3月期の第2四半期までに、**[今般の経済環境を踏まえた収益力の向上]**、**[業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト]**、**[事業基盤の継続的強化]**を骨子とする新中期経営計画の着実な推進に加え**[景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策]**に注力し、以下の諸施策を実施しました。尚、2009年9月30日時点のインフォコムグループは、当社を含め国内7社、海外2社の計9社(内、持分法適用関連会社国内1社)で構成しています。

今般の経済環境を踏まえた収益力の向上

コスト抑制の徹底や利益率の一層の向上に向けた構造改革施策に取り組むとともに、設備投資や研究開発投資の重点化等キャッシュ・フロー重視経営を推進し、グループ経営効率の向上を図っています。

業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト

● 企業向け事業の展開

GRANDIT事業では、導入企業の課題を迅速かつ低コストで解決に導く導入事例集の公開や国際会計基準適用企業をサポートするコンサルティング体制及び販売体制の充実、労働基準法や国際会計基準等の法改正に対応する機能の拡充、導入企業のITコスト削減やグリーンIT化を可能とする仮想化技術への対応を施した新バージョンの販売を開始する等の事業拡大策を積極的に推進しています。

● 医療・公共向け事業

ヘルスケア事業では、医療機関の放射線部門業務の効率化をはじめ、整形外科部門のフィルムレス化によるコスト削減や医療の精度を向上させる自社開発パッケージソフトウェアの拡充、販売開始等、市場のニーズに応える新製品やソリューションの提供を通じた事業の一層の拡大に取り組んでいます。

● 一般消費者向け事業

ネットビジネス事業では、携帯電話向けコンテンツ配信サービスやeコマースサービスの効率的な提供に努めるとともに、パズルゲームやメール装飾素材等の配信開始等、更なる業容の拡大に向けたコンテンツや商材の充実化等の施策を推進しています。

尚、ソリューション・セグメント及びサービス・セグメントのいずれにおいても、成長を実現するための選択肢の一つとしてM&Aを位置付け、検討を継続しています。

事業基盤の継続的強化

ソリューション・セグメントを構成する各事業本部を統轄する「ソリューション事業統轄本部」を強化し、プロジェクト管理機能の強化や品質の継続的向上について、グループを挙げて取り組みを進めています。サービス・セグメントでは、新横浜センター施設の設備近代化工事の実施等、データセンター・サービス事業の更なる競争力強化やSaaS型事業の立上げを企図した基盤整備を継続的に進めており、それらを活用した新たなインフラサービスも開始しました。

景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策

[今般の経済環境を踏まえた収益力の向上]で前述したコスト抑制の徹底等に加え、調達機能を強化し、外注活用体制の最適化に向けた取り組みを進めるとともに、大口顧客向け企画提案体制の増強を行いました。

●●● 新中期経営計画推進状況：成長戦略 2010年3月期上半期ビジネスハイライト

		重点4分野				その他分野
		ネットビジネス	ヘルスケア	GRANDIT	SaaS	その他事業
4月	ビジネスパートナーに株式会社ジェーエムエーシステムズが加盟～完全Web-ERP「GRANDIT®」の販売・導入体制を強化～			■		
	医療機関の放射線部門業務を更に効率化する新「放射線情報システム」「読影レポートシステム」を開発		■			
	インフォバック社が運営し、完全Web-ERP「GRANDIT®」の開発・販売を推進する「GRANDIT コンソーシアム」に株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティングが加盟～国際財務報告基準を始め、激変する会計制度に対応～			■		
	ドゥマンが展開する「オーガニックサイバーストア」(※食品関連eコマースサイト)を携帯電話向けに提供開始～「モバイルだからできるサービス」を展開～					■
5月	インフォバックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の人事・給与モジュールが進化			■		
6月	インフォバックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の導入実践例を課題別に体系化し「GRANDIT-Symphony(シンフォニー)」として公開			■		
	ドゥマンが運営する「オーガニックサイバーストア」で製菓材料の販売を開始～「お菓子づくり」カテゴリを新設、取扱商品を充実し顧客満足度向上を促進～					■
7月	デジタルアーカイブ化構想を進める小布施町の新町立図書館「まちとしょテラソ」で完全Web対応版図書館業務システム「Hello Library」が稼働					■
	創業研究向けワーク・フローツール「Marvin Family Nodes」の無償配布を開始					■
	「整形外科向け医用画像管理システム」を開発～フィルムレス化によるコスト削減や医療の精度向上、院内での情報共有化を強力にサポート～		■			
	インフォバックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の最新バージョンの販売を開始～最新テクノロジーの採用により、セキュリティの強化やITコストの削減～			■		
	イー・ビー・エスが、女性誌「ViVi」の公式ファッション通販サイトで、「ViVi」本誌との連動企画を開始	■				
8月	完全Web対応版の図書館業務システム「Hello Library」、さいたま文学館で稼働開始					■
	ドゥマンが展開する「オーガニックサイバーストア」が、Yahoo!ショッピング「2009年上半期ベストストア 食品部門賞第2位、花・ガーデニング部門賞第3位」を受賞					■
9月	ログイットが、かんたん/安価にメールアーカイブを実現する「ウチノBossメールNEO」を販売開始					■
	ログイットが、日本アパイア株式会社と販売代理店契約を締結～通話録音システムとコンタクトセンター・ソリューションを組み合わせ、幅広い業界に拡販～					■
	仮想化基盤を強化しSaaS型ビジネスを積極的に推進～データセンター・サービス事業で仮想化ホスティングサービスの提供を開始～				■	
	携帯電話向け懸賞パズルゲーム「めっちゃキューブ™」スタート～クリア毎にポイントゲット！ポイントを貯めて懸賞に応募！！～	■				
	携帯電話向け装飾メール素材配信サービス「めっちゃデコ™」スタート	■				

●●● 新中期経営計画推進状況：成長戦略 トピックス紹介

Solution Segment
医療機関の放射線部門業務を更に効率化する新「放射線情報システム」「読影レポートシステム」を開発

ソリューション・セグメントに属するヘルスケア事業では、医療機関向け放射線情報システム「iRad®-RS」並びに読影レポートシステム「iRad®-RW」の新バージョンを開発し、その製品化に先駆け、2009年4月に開催された「2009国際医用画像総合展」(パシフィコ横浜：神奈川県横浜市)にデモンストレーション出展しました。

近年、病院内でのオーダーリングシステムや電子カルテの普及と相まって放射線部門においても撮影から検像、読影に至る一連のワークフローの電子化が急速に進展しており、当社製品である「iRad®-RS」と「iRad®-RW」も全国350以上の施設で導入されています。病院内業務プロセスのIT化ニーズは、今後ますます広範囲化かつ高度化が予想されることから、放射線部門業務の更なる効率化をサポートすべく、全く新しいコンセプトの「iRad®-RS」「iRad®-RW」を開発しました。

ヘルスケア事業は、新「iRad®-RS」「iRad®-RW」の製品化を核として、今後も医療機関の放射線部門向けソリューションの一層の充実を図り、医療機関のIT化ニーズに応えてまいります。



Solution Segment
インフォコムグループのインフォバックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の最新バージョンの販売を開始～最新テクノロジーの採用により、セキュリティの強化やITコストの削減を実現～

ソリューション・セグメントのGRANDIT事業に属し、当社のグループ会社であるインフォバック株式会社は、コンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の最新バージョンであるVer1.6シリーズの販売を7月から開始いたしました。

GRANDIT コンソーシアムでは、顧客視点に立ち、日本企業に最も適し、最新技術基盤を採用した「GRANDIT®」のERPパッケージソフトウェアとしてのデファクトスタンダード化に向けた取り組みを進めており、2004年5月の販売開始以来、コンソーシアム全体での累計受注社数は400社以上となっています。

7月から販売を開始したV1.6.0では、マイクロソフト株式会社の最新テクノロジーの適用により、より高度なセキュリティの確保や運用コストの削減を実現します。

インフォバック及びGRANDIT コンソーシアムは、今後も仮想化やSaaSといった最先端プラットフォームへの対応や、国際会計基準等へのタイムリーな対応を継続し、次世代ERP「GRANDIT®」を更に進化させてまいります。



●●● 新中期経営計画推進状況：成長戦略 トピックス紹介

Service Segment

仮想化基盤を強化しSaaS型ビジネスを積極的に推進

～ データセンター・サービス事業で仮想化ホスティングサービスの提供を開始 ～

サービス・セグメントに属するデータセンター・サービス事業は、SaaS型ビジネスにおける次世代基盤として、最新の仮想化技術を駆使した高信頼性・高品質な仮想化基盤の実証を終え、当社データセンター（神奈川県横浜市）の新たなサービス基盤としての体制強化と整備を完了いたしました。

昨今の不透明な経済環境を背景に、企業におけるITシステム全般に対する投資削減、運用コスト見直しに対するニーズ、また、地球環境保護の一環として、「ITの活用による省力化/省エネルギー化」等のグリーンITに対するニーズも新たに加わり、「IT資産を保有するタイプ」から「必要なITサービスだけを利用するタイプ」を実現するIT（ソフトウェア、プラットフォーム、インフラ等）をネットワーク経由で提供するSaaS型サービスの市場規模の拡大が見込まれています。

このような社会的ニーズに対し、インフォコムグループはSaaS型ビジネスの第一弾として、仮想化ホスティングサービスの提供を9月より開始しました。

インフォコムグループは、より高い信頼性と高品質なITソリューションとITサービスを組み合わせ新たなビジネスモデルの創出を進める事で、ITシステムの活用を通じたお客様の企業活動を積極的にサポートするとともに、省力/省エネルギー化による地球環境にやさしいグリーンITの推進に積極的に取り組んでまいります。



Service Segment

携帯電話向け懸賞パズルゲーム「めっちゃキューブ™」スタート

～ クリア毎にポイントゲット！ポイントを貯めて懸賞に応募！！ ～

サービス・セグメントに属するネットビジネス事業は、モバイルコンテンツ関連市場の中でも成長市場であるモバイルゲーム市場向けに、新たなコンテンツ配信サービスとして「めっちゃキューブ™」の配信を9月より開始しました。

今回サービスを開始した「めっちゃキューブ™」は、「簡単」「可愛い」等のポップな要素を強調したパズルゲームサイトとして、サービス開始初年度の会員数3万人を見込んでいます。また9月にはメール装飾素材配信サービスである「めっちゃデコ™」もリリースいたしました。ネットビジネス事業では、携帯電話各社向けに総合着信メロディサービス「めちゃメロ®」、オルゴール着信メロディサービス「めちゃオルゴール®」、総合着うたフル®サービス「めちゃうたフル®」、電子書籍配信サービス「めちゃコミックス®」等を展開し好評をいただいております。今回新たにパズルゲーム「めっちゃキューブ™」及びメール装飾素材配信サービス「めっちゃデコ™」を加える事で、ユーザーのニーズに合わせた幅広いサービスを展開してまいります。



●●● 財務データ

四半期連結貸借対照表（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2009年3月31日)	当第2四半期連結会計期末 (2009年9月30日)
■ 資産の部		
流動資産	14,331	13,125
現金及び預金	3,646	4,644
受取手形及び売掛金	8,319	5,651
たな卸資産	680	967
その他	1,692	1,867
貸倒引当金	△ 7	△ 4
固定資産	6,358	7,235
有形固定資産	2,721	3,908
無形固定資産	2,264	2,077
ソフトウェア	1,917	1,799
のれん	255	169
その他	92	108
投資その他の資産	1,372	1,249
資産合計	20,690	20,361
■ 負債の部		
流動負債	7,550	6,928
買掛金	3,040	1,998
未払法人税等	364	277
賞与引当金	782	906
その他引当金	18	2
その他	3,344	3,743
固定負債	388	664
引当金	231	241
その他	157	423
負債合計	7,939	7,593
■ 純資産の部		
株主資本	12,635	12,644
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,442	1,442
利益剰余金	9,603	9,612
評価・換算差額等	△ 22	△ 12
その他有価証券評価差額金	△ 0	1
為替換算調整勘定	△ 22	△ 13
少数株主持分	137	135
純資産合計	12,750	12,767
負債純資産合計	20,690	20,361

四半期連結損益計算書（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)
売上高	16,044	16,192
売上原価	10,729	10,125
売上総利益	5,315	6,067
販売費及び一般管理費	5,671	5,478
営業利益又は営業損失(△)	△356	589
営業外収益	44	38
営業外費用	9	6
経常利益又は経常損失(△)	△321	621
特別利益	5	2
特別損失	12	131
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△327	491
法人税、住民税及び事業税	39	258
法人税等調整額	△73	△ 0
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7	△ 5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△302	238

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	470	1,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 997	△ 596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 422	△ 263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△959	998
現金及び現金同等物の期首残高	3,252	3,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,293	4,643

●●● 会社情報

●●● 会社情報

商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 吉野 隆
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点	東京都渋谷区、大阪府大阪市、 神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円 (2009年3月31日現在)
社員数	671名(単体)1,179名(連結) (2009年3月31日現在)
連結売上高	359億12百万円(2009年3月期)
連結営業利益	17億26百万円(2009年3月期)
グループ会社	国内6社、海外2社 (うち、持分法適用関連会社 国内1社)

●●● 役員

代表取締役社長 CEO	吉野 隆
取締役 ソリューション事業統轄本部長	小林 晃
取締役 CFO	山本 員裕
取締役 ネットビジネス事業本部長	竹原 教博
取締役	森田 順二
常勤監査役※	木原 茂
常勤監査役	三浦 進
監査役※	佐野 喜八郎

※印の監査役は社外監査役です。

●●● 株式情報 / 株主メモ

●●● 株式情報

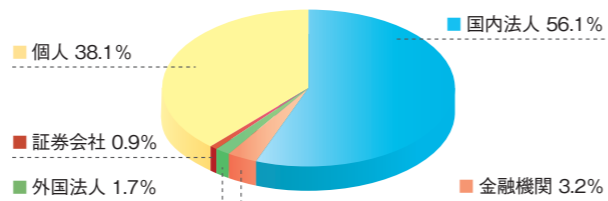
上場年月日	2002年3月19日
上場市場(銘柄コード)	JASDAQ 証券取引所(4348)
発行可能株式総数	576,000株
発行済株式数	144,000株
株主数	6,109名(2009年9月末日)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月末日 期末配当金：毎年3月末日
売買単位	1株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告掲載URL：<http://www.infocom.co.jp/>

(2009年9月末日)		
帝人株式会社	72,200株	50.1%
双日株式会社	7,200株	5.0%
インフォコムグループ従業員持株会	4,900株	3.4%
株式会社南日本銀行	2,453株	1.7%
日本スタートラスト信託銀行株式会社	852株	0.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	659株	0.5%
エスアイエツクス エスアイエス エルティエーデー	530株	0.4%
日本証券金融株式会社	518株	0.4%
メロンバンクローリーティアクライアントムニバス	487株	0.3%
個人	469株	0.3%



●●● インフォコムホームページのご案内

インフォコムグループの情報は、以下のインフォコムホームページよりご提供しております。



インフォコムホームページ

<http://www.infocom.co.jp/>



IR 情報

<http://www.infocom.co.jp/ir/>



IR 情報「個人投資家の皆さまへ」

<http://www.infocom.co.jp/ir/investor/>